

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	中学校夜間学級給食事業				事業番号	038-093	
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校管理部	部	学校給食課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—	
			無	取組の方向性	—				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	現状値	—		目標値	—	
			有	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.6	
			有	取組	夜間中学校などの学び直しの支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	－		
3	事業開始年度	昭和 47 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	－		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	堺市立殿馬場中学校夜間学級の生徒84人（R7.5.1時点）				対象数	単位
						84	人
7	事業の目的	中学校夜間学級で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため。					
8	事業内容	中学校夜間学級において、夜食として牛乳とパンの補食給食を無償で提供する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	堺市学校給食協会					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	アンケート調査による満足度	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	95	85		
			達成率	95%	85%		
	当該指標を選定した理由	修学支援という貢献度を、生徒の満足度の観点から図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	補食給食を高い頻度で食べている生徒のうち、授業を受ける上で役立っていると答えた生徒の割合					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	給食実施日数	日	目標値	196	194	192	
			実績値	196	194		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	事業の活動状況を端的に示すため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	給食実施予定日を設定					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	中学校夜間学級給食事業	事業番号	038-093
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	940	783	1,147	871	1,084
	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（物品売払収入）	26	5	17	7	18
	受益者負担金(使用料、手数料等)	914	778	1,130	0	0
	一般財源	0	0	0	864	1,066
14	人件費（b）	810	810	840	840	870
15	年間経費（c）=(a)+(b)	1,750	1,593	1,987	1,711	1,954

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	給食調理委託料	決算	871	864		決算			
			予算	1,084	1,066		予算			
			決算				決算			
			予算				予算			
			決算				決算			
			予算				予算			
			決算				決算			
			予算				予算			
			決算				決算			
			予算				予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 中学校夜間学級生徒数（各年度5月1日現在）	人	91	84
	② 上記①にかかる年間経費	千円	1,593	1,711
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	17,506	20,369
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	前年度に比べ、単位当たり経費が上昇したが、生徒数が減少したことに加え、世界情勢や円安等による原料費（小麦）・輸送コストの価格上昇によるところが大きく、発注量の精査は実施している。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	中学校夜間学級は、様々な理由で義務教育を修了できなかった方が通学されており、補食給食を無償で提供することで、空腹による学習意欲の低下防止に寄与している。また、補食給食の時間帯は生徒間等のコミュニケーションの機会ともなっている。 補食給食を高い頻度で食べている生徒の85%が授業を受ける上で役立っていると回答しており、中学校夜間学級で学ぶ生徒の修学支援に一定の効果を上げているといえる。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	中学校夜間学級は現在においても需要があり、中学校夜間学級が存在する限り学習意欲の低下防止に寄与するなどの点で当該事業は必要である。また、給食費無償化が広がっている中で中学校夜間学級における補食給食についても生徒に無償で提供すべきであると考え。
	有効性	■ 高い □ 低い	